



福井市開発1-1008 TEL: 54-2819 FAX: 54-9769 E-mail: keimo-e@fukui-city.ed.jp
学校だよりは、啓蒙小学校ホームページでもご覧いただけます。http://www.fukui-city.ed.jp/keimou-e/

本日10月14日、1学期の終業式を行いました。4月8日(木)の始業式、入学式から100日間、保護者の皆様、地域の皆様のご協力により、日々の教育活動に集中して取り組むことができました。また、校外学習や宿泊学習、体育大会など子供たちが楽しみにしていた活動も、安全に行うことができました。本当にありがとうございました。

ようやく明日15日からは、新型コロナウイルス感染拡大警報が解除され、200日ぶりに何も発令のない状態になります。しかし、気を緩めず感染予防に努めながら「笑顔いっぱいの啓蒙小学校」目指して、子供たちと一緒にがんばっていきます。ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

1 「豊かな発想・好奇心・チャレンジ精神」 1学期終業式：10月14日(木)

今日の話のテーマは「豊かな発想・好奇心・チャレンジ精神」です。豊かな発想で、いろいろなことに好奇心をもち、新しいことにチャレンジしたおサルさんのお話です。

宮崎県の無人島である幸島には野生のニホンザルが住んでいます。京都大学の研究者が、サルを研究しやすいようにサルに餌を与えたそうです。あるときメスの子ザルが砂のついたイモを食べやすいように川の水で洗って食べました。すると、それをきっかけに母ザルやきょうだい、友達のサルが真似して、群れ全体にイモを洗って食べるのが広まりました。後には、海の水でイモを洗い、塩味をつけることも覚えめました。「イモ洗いザル」の誕生です。また、イモだけでなく、砂まみれのムギを洗い、ムギだけ取り出して食べる方法もみつけ出したそうです。



長野県の地獄谷野猿公苑のおサルさんもあることで有名です。ニホンザルを間近で見ることができるよう、サルに餌を与えました。ある寒い冬の日、リンゴを温泉に投げ入れたところ、無関心な大人のサルを尻目に、好奇心旺盛な子ザルがリンゴを取りに温泉に入り、リラックス。温泉に入ると気持ちのよいことに気がきました。やがて母ザルも子ザルの真似をするようになりました。寒い冬の日には、リラックスするために温泉に入る珍しいサルがいると、話題になりました。



ここで不思議なことがあります。大人のオスザルは、温泉には決して入りません。人間も動物も同じように、大人のオスは今までの生活を新しくすることが苦手なんだそうです。そして、新しい行動のきっかけを作るのは子供やメスだそうです。このことは「ざんねんないきもの事典」の作者、今泉忠明さんが「あえるよ！山と森の動物たち」という本の中で、解説しています。

残念ながら、先生は大人のオスですから、新しいことに挑戦する力が衰えている代表者です。みなさんは、ピカピカの子供です。コロナ禍の大変な世の中ですが、豊かな発想で、いろいろなことに好奇心をもって、チャレンジしてほしいです。先生も負けないようにがんばります。

短い秋休みですが、健康に気を付け、交通事故に遭わないように安全に過ごしてください。そして、2学期も「元気なあいさつ」「友達となかよく」「ねばり強く(努力して)」を忘れず、「笑顔いっぱいの啓蒙小学校」を目指しましょう。

2 みんなを信じて 勝利へすすもう 燃やせけいもう魂 校内体育大会：9月30日（木）

澄み切った秋空の下、校内体育大会を行うことができました。今年度も半日での開催となりましたが、子供たちは競技に、応援に張り切って活動することができました。また、5年生と6年生は前日準備や当日の後始末にも力を発揮してくれました。よくがんばってくれました。

今年の目玉は昨年度行えなかった応援だと思えます。しっかり距離を空けて応援することができる6年生のみが声を出ることができるというルールの中、応援リーダー中心にしっかり取り組み、すばらしいパフォーマンスを披露してくれました。

また、早朝より、たくさんの保護者の皆様が参観に来てくださり、熱く子供たちの活動に声援を送ってくださいました。本当にありがとうございました。

子供たちの感想を一部抜粋して紹介します。※丸数字は学年です。



- ①自分の力を出せてよかったです。みんなもがんばってました。体育大会ができてよかったです。
- ①50m走で1位になれなくてくやしいです。最後まで諦めなくてゴール目指してがんばれました。
- ①同じ色のみんなに応援してもらったおかげで、速く走れてよかったです。
- ①6年生ががんばっているところを見て、すごいと思いました。
- ②とっても6年生がかっこよかったです。6年生は最後まで、しっかり全力を出していました。しかも私たちのことを一生懸命応援してくれました。私も今年の6年生みたいになりたいです。
- ②結果は2位だったけど、私の中では1位でした。特にがんばれたと思うのはトマト大作戦です。他の組の子とでも、チームワークがみんなでもできたからです。来年こそ1位をとりたいです。
- ③80m走で5位だったけど、5年生の応援でがんばれました。応援されるとうれしくて、ありがとうという気持ちがあるので、声は出せないけど、体で気持ちを伝えたいと思いました。
- ③だるま運びリレーでは、チームのみんなでもうすぐ抜かれそうになったけど、みんなで全力を出し切って勝てたから、とてもうれしかったです。
- ③私は80mで1位でした。ゴールを見て一生懸命走りました。応援でもひじを伸ばして、三三七拍子、一致団結エール、ウェーブ、いろいろがんばりました。
- ④僕が一番よいと思っているのは、みんなで仲良く体育大会をすることです。仲良くなれば優勝できるかもしれないし、応援もうまくできそうだからです。
- ④練習のときより、全力を出し切れませんでした。応援のときには、6年生が迫力のある声を出していて、真似したいなと思いました。80m走では、最後まで走り切り、すがすがしさを感じました。
- ⑤自分の役割を責任をもってできたのがよかったです。6年生が応援で大きな声を出していたので、次は自分が6年生なのでしっかりと大きな声を出したいです。
- ⑤体育大会後に、6年生が5年生に言ってくれた「練習すること」「失敗してもあきらめないこと」は、私も大事だなと思いました。来年、しっかりと取り組みたいです。
- ⑥僕たちリーダーはこの日のために、準備し続けました。みんなに応援を教えたり、道具を作ったり、6年生だけで練習したりしました。今日、体育大会当日しっかり応援できてよかったし、後ろの1～5年生のみんなもちゃんと教えたことをやってくれて、すごくうれしかったです。
- ⑥終わったときに、やり切ったという達成感がありました。その達成感は、今までと違って6年生だから感じられたものなんだなと思います。おこられるのは全部私たち6年生で、責任もあったけど、1～5年生ががんばってくれたおかげで、悔いのない体育大会ができました。
- ⑥6年生になり、応援リーダーになって、今までの6年生の大変さが分かりました。5年生までとは違う動き、違う思いがありました。閉会式が終わって泣いている6年生がいる中で、4年生が「来年は僕たちが優勝するね」と言ってくれてうれしかったです。
- ⑥この1ヶ月の間、学年全体で成長できたと思います。夏休み前より、クラスで話し合ったり、協力したりする場面が増えました。そして、誰かに任せることが減ったり、自分のことばかり考えて足を引っ張ったりすることがなくなったと思います。